

H27年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	豊立会	代表者	鈴木 俊孝	法人・事業所の特徴	日々笑顔にあふれたアットホームな雰囲気施設の施設です。通いであっても自宅へ送ったら支援が終わりではなく、24時間ご利用者様の状況を把握して、必要な介護が出来るように支援しております。また、宿泊や訪問の支援も顔なじみの職員が支援しており、関係も深まり安心へと繋がっています。またご家族様と、情報を共有することでご利用者様の最適な支援へと繋げ、季節に合わせたイベントや外出行事も多く楽しみのある施設となっています。ご利用者様からの意見を取り入れ、活動に活かし、一人ひとりに合わせた日常生活動作の向上が図れるように支援をしております。朝の訪問支援や夕食を食べてからの送迎、急な宿泊の対応など可能な限り柔軟に対応して、独居の方の支援や、ご家族様の介護負担の軽減を図れるように努めております。
事業所名	まんざきの家玲光苑	管理者	坂本由紀子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	10人	人	2人	1人	1人	人	6人	1人	22人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			自己評価について、職員一人一人のレベルや経験年数の違いもあり、また評価の基準について統一性もないため判断は難しかったのではないかと。	今回の自己評価をもとに、一人一人の改善向上を図り、課題について職員が共有する事で多くの職員が『出来ていない』と答えたことについて、事業所としてのサービスの向上に努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境			特に意見は聞かれなかったが、居心地のいい空間と評価して頂いている。	家族や地域の方が、事業所に入りやすいよう、地域の方も利用者も楽しめるようなイベント、また役に立つミニ勉強会等を企画し、来苑しやすい環境づくりに努める。
C. 事業所と地域のかかわり			地域の回覧板等を通して、まんざきの家の情報発信を今後も続けていってほしい。徐々にまんざき玲光苑のことが理解でき、地域の人達が立ち寄りやすくなると思う。『気軽に立ち寄って下さい』との事だが、その1歩が踏み出せないの見学会等の検討をしてはどうか。	様々な機会を利用し、まんざきの家玲光苑の情報発信を行うと共に、地区行事にも積極的に参加し、普段から地域との顔なじみの関係づくりを行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み				地域に開かれた事業所として、地域との顔なじみの関係づくりのための取組みとしてイベントや勉強会の実施を積極的に行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進会議や回覧板等を通して、まんざきを家の取組みが解りやすく報告されている。	運営推進会議では、事業所の取組みの説明だけでなく、地域に根ざした事業所として、地域の困りごと等についても委員に対して積極的に意見を求めていく。
F. 事業所の防災・災害対策			事業所の防災の取組みについて解らない事が多い。災害時等の避難場所等の協力体制をとれるとありがたい。	地域の中の事業所として、地域の防災の1拠点としての役割を担う。運営推進会議のプログラムの1つとして、委員参加のもと施設の消防訓練を実施する。

